

令和5年度 西砂学習館運営協議会（令和6年3月）会議録（案）

日 時：令和6年3月22日（金）午後6時00分～午後8時00分 （敬称略）

出 席：大槇 加藤 広瀬 内金崎 小笠原 岩元 小林 能村 森

欠 席：長谷川、杉之原、増田

傍 聴：無し

事務局：高野 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大槇：地域活性化講座策定に向けての資料を用意した。本日は今年度の振り返りを行い、このエリアの課題を話しながら共通理解を持ち、令和6年度の活動をどう進めるか考えていければと思う。

2 令和5年度地域活性化講座について

（1）「おやこ塾～パン作り」の報告について

日時：令和6年2月25日（日）午後2時～3時30分 会場：西砂児童館

対象：小学生・中学生親子 参加者20組 延べ45人

講師：日々のパン おうちパン教室 倅 松本久美子 氏

高野：親子共々和やかな雰囲気であった。

広瀬：若いお母さん方がよく集まったが20組は多いと感じた。参加者はもっと先生と接しなかったのではと思った。今後の子ども対象のイベントに今回の参加者への呼びかけは可能か。情報提供をしたい。

高野：講師からは45名以上は厳しいとお話しはあった。情報提供はセキュリティの関係もあり、学習館側からは難しい。当人の承諾があれば可。

岩元：小学生対象なら各小学校へチラシを配布すれば関心ある世代にアプローチが可能と思う。寿教室の受付は2次元コードを使い始めている。色々なチャレンジが可能。

高野：生涯学習推進センター全体としてもDXが課題になっている。

広瀬：2次元コードと併せて電話番号での受付も可能だと親切に感じる。

高野：2次元コードの申込は定員、申込のタイミングで人気の講座について課題はある。

加藤：市民推進委員会では使用目的をお知らせし受講者連絡票を活用している。講座の参加者が集まらない時は類似講座に参加した方にお知らせをし、効果はある。

能村：きらり・たちかわ第67号はたちかわ男女平等フォーラムだけ2次元コードからの申込になっている。

岩元：個人情報について。自分が情報を提供することに賛同して住所や電話番号をお伝えすることは、個人情報を使って良いという意味表示ですね。

高野：そう理解している方とその講座限定で情報提供をしているという認識の方がいる。

岩元：「学習館が主催する講座について」と明確にすれば情報提供が可能になる。

大槇：今回の親子塾は20組以上の申し込みがあり参加者の関心が高かった。食に関する講座は受講者が多いと予測できる。2回実施した方が良いか。会場や予算については頭に入れておく。全体に関わる部分について。申し込みの2次元コードや受講者連絡票を取り入れ次回に繋げていく。

（2）認知症予防講座について

日時：令和6年5月 日（ ） 会場：西砂学習館 室

対象： 講師：

内金崎：日程は6月実施が良いと話があった。4月5日から授業が始まるとのこと。日程は4月5日以降に分かる。先生からは平日実施が助かると言われている。

（3）令和6年度に向けての具体的な講座内容について

⇒ R5年度工事でできなかったことを踏まえて、6年度をどうするか？

○ 西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～

R5年度中規模改修工事のため、短期間開催。R6年度の開催方法は。

○ 西砂ウインターイベント～冬休みも学習館に行こう！～

R5年度は1月開催は準備が大変なので12月末開催に戻す方向。

○ にしすな親子塾

開催時期：

講座の内容：

○ 西砂川での災害を考える

大まかな内容：

大まかな日程：

○ 西砂産業まつり

今年度の検討内容：開催の目的や構想を考える。

立川工業会へのアプローチを考える。

○ その他 新規に実施したい講座

大まかな内容：

大まかな日程：

○ その他の活動について

- ・ 西砂学習館まつりへの参加

◇ 学校の主な予定（3月、1学期 仮予定）

西砂小学校

松中小学校

立川第七中学校

終了式 3/22（金）

3/22（金）

3/18（月）

卒業式	3/25（月）	3/25（月）	3/18（月）
入学式	4/8（月）	4/8（月）	4/10（水）
始業式	4/8（月）	4/8（月）	4/8（月）

※松中小学校は令和6年度、中規模改修工事の予定。

大橋：資料参照。柱が「地域の居場所作り」、「地域再発見」、「新しい住民の地域デビュー」となっている。フリースペースは検討していく。サマーイベントは今年度7月に3日間実施。それまでは小学校の夏休み期間中に6回実施。令和3年度は5回実施。子どもの居場所作りの活動として定着してきた。ウインターイベントは書初めのお手伝いから始まった。今年度は西砂会館と天王橋会館で実施。にしすな夜間塾はにしすな親子塾とし土日の日中開催になった。今年度は竹とんぼ、パン作りを行った。地域再発見は令和3年に3講座、令和4年に3講座を実施。今年は写真を見ながら座学、都市型農業の地域散策を検討していたが、実際には改修工事などあり未実施となった。「ようこそ！西砂へ」は「地域を学ぼう！」と兼ねている。「西砂の産業を知ろう」は情報収集の段階。「西砂川文化会の事業を知る」は、顔繋ぎと取材を兼ねて参加。繭玉づくり、うどん作りを行った。「西砂川での災害を考える（第7弾）」は未実施。今までは地域のリーダーとして動けるように地域の防災担当者を対象に講座を企画。次年度はどうするか。「認知症予防講座」は北部西かみすな地域包括支援センター、岩元委員にご協力頂きレクチャーと音楽を使った予防講座を行った。今年度は6月実施の予定。関東リハビリテーション専門学校生を招いて行う。西砂学習館まつりには作品展にパネル展示している。この一覧表に地域学校コーディネーターとの情報交換会が入っていない。令和6年度の講座を考えるとこのエリアの課題について時間を使い話した方が良いか。地域課題を拾い上げ、どう解決するかを考えることも地運協の役目でもある。

岩元：これまでの事業を継続するか。新しい企画について。西砂学習館だけ多文化共生講座が無いと聞いている。新規講座として入れても良いかと思う。

加藤：TIFA（立川国際友好協会）がこの地域で活動している。多文化共生の講座はここですでに実施している。TIFAと連携ができるか。

高野：多文化共生係が担当。多文化共生講座は西砂学習館での実施は少ない。

大橋：「令和6年度西砂学習館運営協議会主催地域活性化講座策定に向けて」参照。エリアの課題を話したい。先日西砂児童館の交流会へ参加。このエリアの課題として人口増加、自治会未加入について話がでた。人口増加に伴い、新旧住民同士の関係、新しい住民の情報の取得について諸々見えてくる。課題解決の為に講座を決められたらと思う。

加藤：参照資料の通り。一番は（1）西砂エリアでの人口の急激な増加。家がどんどんで

き、子ども達も増えているのを実感する。過去に地域を探検する講座をいくつか実施した。地元を見て歩くことは大きなポイント。是非考えていきたい。

広瀬：西砂は学社一体が進んでいる。問題について全体の講座で行うのが良い。部活の問題、地域の人材の問題など問題意識はずっとある。講座という形で一度明確にするのが良い。

小林：前回お休みした。真剣に色々と聞いている。

能村：(1) 新住民の急増について。この地域は建売が多く、子どもがいる世帯が多い。地域のことを知ってもらうキーマンは子どもなのかと思う。サマーイベントや親子向け講座がきっかけになる。親子が参加でき西砂を知る講座が良いと思う。

森：資料に記載のエリアの課題はどれも大事なこと。この地域に引っ越してきて自分の子どもは大きくなり地域の中でどう関わるか分からなかった。自治会には加入を希望したが断られてしまった。親子の体験講座に大人だけの参加も可能だと良い。GLPプロジェクトの交通問題も心配。しっかり地域住民が理解できる機会を持ちたい。あとは立川駅までの時間的・金銭的な距離について。この地域から立川駅まで出向くのは遠いとお声を聞き、西砂学習館で講座を行う意義を感じる。

内金崎：西砂エリアの交通問題は課題として大きい。この地域は子どもが急激に増えているが子どもを意外に見かけない。先日の児童館交流会で、子どもが公園で遊んでいると子どもの声がうるさいと学校にクレームがくると話があった。子ども達が全力で遊ぶ場所が無いのだと思った。能村委員から保護者層を集めるには子どもへのアプローチが必要と話がでた。どのような企画だと人が集まるか。防災は強い。もう1つは楽しいこと、美味しいことは人が集まるキーワードと思う。来てもらうことに意味がある。来てもらうための工夫を考える必要がある。

岩元：新しく立川市にきた住民にどこまで市は情報提供をしているか。自分の自治会では新住民を対象にしたウェルカムパーティーの話が出ている。各自治会で実施できたら良い。自治会が無い地域は学習館が企画をして紹介することは可能と思った。

小笠原：親の仕事の時間が長い為、親が家にいる時間が短い。地域を親自身が知らないまま過ごしているのが地域活性に繋がらない理由なのだと思う。だからこそ、親子塾、親子の講座で何か共通の話題を発信していかないとそれすらなくなるのではと感じている。あとは現在、学習館、図書館、児童館など様々な施設があるが、どこで何を行っているか一元化されていない。将来的に整備されたら良いと意見がでていた。情報提供はスマホ、タブレット世代には今後どうするか課題。利用者アンケートを今回初めて2次元コードで受付けたが回答が無かった。紙での回答も増えていない。つまり見ていないのか。

岩元：関心がないのでは。

大橋：情報収集については西武立川駅掲示板にみんなの西砂川のポスターが掲示してある。あそこからこの地域の情報が入る。ただ今の話を聞くと、2次元コードを記載

しても難しい。

岩元：みんなの西砂川を時々見るが情報はあまりない。

広瀬：この地運協の2代目の学識経験者の方からウエルカムパーティーのお話があった。新しい住民の問題は受け入れる側の問題とのことだった。「ようこそ西砂へ！」の企画は好き。

大橋：豊泉喜一さんの講座は後継者として学べる企画ができると良い。「ようこそ！西砂へ」は過去に達磨作り、都市型農業など見学した。見学後は小林委員が地元のお野菜で食事を作り皆でランチをした。あの講座は美味しく楽しい体験があり、地域を取り組む大きな入口なのかと思う。子どもも合わせて考えていけると良い。

加藤：倉庫の見学をしたこともあった。

俣本：GLPプロジェクトに関わる交通問題が心配。

田中：子どもの講座は親も楽しめる内容を検討できたら良い。

高野：参加する前のステップとしてどう工夫するかが大事。小笠原委員からお話があった保護者の家にいる時間が少ないことは西砂というより全体の課題と思った。「ようこそ！西砂へ」は復活してもいいのでは。GLPプロジェクトは立川市直接の問題ではないが、近隣として生活圏に影響が出ると思われるので行政的に気になる。人口増になり時間を問わず人が動く。道路拡張等ハード面的にハードルが高く厳しい。

岩元：私たちに何ができるか。情報がなかなか来ない。

加藤：一般の方は分かっていない。情報を伝えることが必要か。

岩元：GLPにガードパイプを設置してくれるのかお聞きした。やらないとのことだった。行政は市の限られた財政で1つの企業のために税金を投入できないが、GLPがやらないとなると市がやらなければいけなくなってしまう。

高野：地域で懸念があるならば地域が声を上げ要望すると変わるかもしれない。過去、「まちづくり」について意見が反映されたケースもあり、声を上げなければ何も動かないままなので気になるのであれば、関係部署に声をかけてほしい。

広瀬：自治会の総会シーズン。そこでどのような話がでるか。

森：オスプレイの講座を実施した時、興味を持ち参加した地域の住民が多くいた。企業説明会ではなく、地域課題として皆さんどう思いますかという考える機会を作るのは良い。

岩元：企業説明会は企業の都合良く行われる。

森：地域サイドからの説明会があると良い。「ようこそ！西砂へ」も兼ねられる。地域の現状を知り考える事は大事。課題があることを知ってもらうことも大事。

加藤：GLPプロジェクトについて説明会を行っているが全てGLP側の説明会。

広瀬：交通渋滞で農家の人は出荷時大変になる。

岩元：地運協として説明会をするのか、自治連の支部単位で行うのか。完成はいつか。

高野：計画案では令和7年度完成。完成後はトラックだけでなく、従業員の通勤渋滞もあ

り生活エリアへの影響は未知数。子どもの通学路に影響はする。地域課題としてどう取り上げるか。

加藤：事実を住民にどう知ってもらうか。知ってもらうための学習会を行うか。

森：課題を抱えている現状を皆が共有するのは大事。

広瀬：自治会回覧板では今まで GLP の情報は無かった。

大槌：具体的にどうするか。4月の会議で再度検討したい。

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槌：何かあれば事務局まで。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・地域学校コーディネーターとの第3回情報交換会の報告について

令和6年3月14日（木） 午後6時30分 会議室

(3) 「西砂学習館まつり」第2回実行委員会について

- ・第2回実行委員会 4月10日（水）午後1時30分 視聴覚室

*第1回実行委員会後の進捗について

- *展示、舞台発表会、催し物等について

今後の予定

- ・振り返り会 6月19日（水）午後

- *アトラクションについて

- ・第1回実行委員会の話し合いでプレまつりではなく、「西砂学習館まつり」の期間中の5月25日（土）に開催が決定。内容については、前回（第43回）と同様、国立音楽大学学生の演奏を依頼中。

高野：記載通り。アトラクションは5月15日に実施する。

(4) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

第7期地域運営協議会報告のまとめについて

加藤：市民推進委員会の総会は5月8日に行う。認知症講座は、9月映画会、講座を予定。実際に認知症になった方からの話をお聞きする。地運協と連動して集客できたら良い。財政を考える会では毎月学習会を行っている。財政白書は3冊目になる。防災関係について、各学校の井戸水を活用し災害時でも水を使えるようにする活動をしている。

広瀬：4月20日「虹の会」市民講演会「大切な方を亡くされた思いとともに」を予定。4月は女性総合センターアイムで在宅介護の講演会も予定。

内金崎：地域福祉コーディネーターの浅見が復帰する。この地域で中国人のコミュニティについての情報を知りたい。知っている方がいればご連絡ください。

小笠原：児童館交流会は良い会合になった。3月17日子ども祭り実施。総勢250名近くが来た。一昨日は東京都主催のドッジボール大会に地域の方々の協力いただき、大会に参加。保護者が盛り上げてくれた。どうしたら日々の子どもの生活に保護者の熱を取り入れられるか考えさせられる日となった。明日から春休みが始まる。児童館は令和7年度中規模改修工事を控えている。開館しながら改修工事をする方向でと主管課から言われている。親子塾含めて動きが難しくなる。

岩元：地域学校コーディネーターとして、七中の校長、副校長と次年度、地域力をどこまで学校教育に取り込んでいただけるかの話を行いたいと思っている。他はコーラス、寿教室などの楽しい行事があり楽しみにしている。

小林：最近は体調を気遣い外になるべく出ないようにしているが出来る限り頑張る。

能村：きらり・たちかわ第67号発行。特集は立川市民歌について。夏号に向けて3月30日は松明保存会を取材する。

森：2月エクセル講座、3月団体企画型講座が無事に終了。普段講座に来ない方が広報を見て参加してくださり企画講座をする意義があった。新しい参加者も増えた。本日西砂小の下校見守りに行った。残念ながら保護者の参加は殆どなかった。一斉下校で子ども達たちの人数が多く、七中の生徒も丁度帰宅時間が重なり更に人が多かった。保護者が出て来られない分地域で下校の見守りができればよいと思うが、地域の住民を受け入れてもらえるのか。受け皿の準備もしていかないと難しいと感じた。お手伝いできる人材を繋げられるように動けられたらと思う。今日は終業式ということもあり下校に1時間かかった。

俣本：3月は9日にオカリナコンサート、18日子ども観劇会などを行った。3月22日は寿教室の修講式があり無事に終了。今は開講式に向けての準備を行っている。

田中：玄関に障がい者用の看板がある。10年前作ったのでその手直しをしている。2階の機械室にスペースできたので棚を作る予定。

高野：工事の残務整理を行っている。「ようこそ！西砂へ」は開催したいと思う。

内金崎：3月23日西砂会館で「西砂だれでも食堂」を行う。子どもから高齢者までだれでも参加が可能。

大槁：4月は本日の話を踏まえ、講座の内容を決めていきたい。

5 その他 ○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、令和6年4月16日火曜日

<配布資料>

- ・〈資料1〉2月地域運営協議会会議録
- ・〈資料2〉2月14日地域コーディネーター交流会会議録

・〈資料 3〉